

会議の経過	
開会年月日時刻	令和 7 年 5 月 2 8 日（水） 午後 3 時 0 0 分
閉会年月日時刻	令和 7 年 5 月 2 8 日（水） 午後 4 時 1 1 分
会議の場所	館林市役所 5 0 1 A B 会議室
会議次第	
1. 開会 2. 会議録署名委員の指名 3. 前回会議録の承認 4. 教育長事務報告 5. 議事 議案第 3 0 号 館林市青少年補導員の委嘱について 議案第 3 1 号 館林市田北東集会所運営委員の委嘱について 議案第 3 2 号 館林市野辺集会所運営委員の委嘱について 議案第 3 3 号 館林市立学校適正規模・適正配置審議会への諮問について 議案第 3 4 号 令和 7 年度奨学資金（追加募集）貸与者の決定について （非公開） 議案第 3 5 号 令和 7 年度教育費補正予算について （非公開） 6. その他 7. 閉会	

会議の経過		
出席委員	第1番 第2番 第3番 第4番 第5番	栗原昇 井上美智子 堀口哲哉 中村美江子 木戸浩之
欠席委員	第1番 第2番 第3番 第4番 第5番	
提案説明のため 出席した者	教育長 教育次長 教育総務課長兼学校給食センター所長 生涯学習課長 参事兼学校教育課長 文化振興課長 スポーツ振興課長 向井千秋記念子ども科学館長 図書館長 総括係長 書記	中村美江子 戸叶俊文 木村和好 森田秀利 平井智久 中村豊 田部井修 田中洋子 飯塚昌生 岩瀬美花里 横山瑠璃子

会議の経過	
教育長	<p>それでは、定刻となりましたので、館林市教育委員会定例会を開会いたします。 (午後 3 時 0 0 分)</p> <p>本日の日程は別紙のとおりです。</p> <p>次に、日程第 2 会議録署名委員を指名します。</p> <p>今回の署名委員は 1 番 栗原委員、2 番 井上委員を指名いたします。</p> <p>次に、日程第 3 前回会議録の承認については、後日読んでいただき承認するものとしてよろしいでしょうか。</p> <p>(委員から「異議なし」の声あり)</p>
教育長	<p>異議ないものと認め、そのようにいたします。</p> <p>次に、日程第 4 教育長事務報告をいたします。</p> <p>一般事項(1) 令和 7 年度関東地区都市教育長協議会総会が 5 月 8 日と 9 日に東京都北区の北とぴあで行われました。総会では、令和 6 年度の事業及び決算と、令和 7 年度の事業案及び予算案が承認されました。役員選出では、関東地区の会長に神奈川県海老名市の教育長が、副会長に東京都北区の教育長及び藤岡市の教育長が選出・承認されました。また、文部科学省による行政説明等や、北区文化振興財団の方による記念講演がありました。2 日目の分科会では、沼田市が発表となった第 3 分科会(生涯学習)に出席しました。次に、(2) 県市町村教育長協議会第 1 回定例会が、5 月 1 2 日に群馬県庁で行われました。今回の会議では、協議事項はなく、連絡事項として「次世代型校務支援システムの共同調達について」等、各所管部署から連絡がありました。</p> <p>私からの報告は、以上でございます。</p> <p>続いて、教育委員会各課の処理事務報告ですが、議案書に記載されている事柄について補足説明等必要なものがありましたら、説明をお願いします。何かございますか。</p>
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	<p>前回定例会におきまして、館林市就学援助費支給認定規則の制定についてご審議いただいている中でご質問がありました、就学援助費の申請数についてお答えいたします。申請数につきましては、令和 3 年度が 4 3 8 人、令和 4 年度が 4 3 7 人、令和 5 年度が 4 3 4 人、令和 6 年度が 4 5 3 人となっております。人数としてはほぼ横ばいですが、全体の児童生徒数が減っておりますので、申請割合は少しずつ増加していることとなります。</p> <p>以上です。</p>

会議の経過	
教育長	ありがとうございます。ほかにございますか。
スポーツ振興課長	はい、教育長。
教育長	はい、スポーツ振興課長。
スポーツ振興課長	先月の定例会におきまして、社会体育施設利用状況について、市民体育館の種目の中にある体力トレーニングのほかに、市民体育館の「その他のスポーツ等の主な内訳」の項目においても体力トレーニングがあるのはなぜか、というご質問がございました。これにつきまして、本来は市民体育館の項目中に「その他のスポーツの主な内訳」における体力トレーニングの人数17名も含まれるべきものでございました。訂正してお詫び申し上げます。今後はこのようなことがないよう、課内で課題を共有してまいりたいと考えております。申し訳ございませんでした。以上です。
教育長	ありがとうございます。ほかにございますか。 (事務局から「なし」の声あり)
教育長	それでは今回の事務報告について質疑がありましたらお願いします。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	2ページの教育総務課の報告にある後援について、キッズマネースクールおみせやさんごっこの内容と対象者を教えていただければと思います。
教育総務課長	はい、教育長。
教育長	はい、教育総務課長。
教育総務課長	こちらにつきましては、いただいている申請書によりますと、対象は4歳から10歳のお子さんとその保護者ということになっております。内容は、おみせやさんごっこを通してお金の大切さや働くことの大切さ、そういったものを学んでいただくというものです。また、保護者に対してはお小遣いの渡し方というものも行っております。こちらのキッズマネースクールにつきましては、大体1年に一度、市内のいずれかの会場を借りて行っている状況でございます。以上です。
栗原委員	ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
堀口委員	はい、教育長。
教育長	はい、堀口委員。
堀口委員	同じく2ページに工事に関することがいくつかあります。空調設備更新工事については、耐用年数はどの程度なのか教えていただければと思います。
教育総務課長	はい、教育長。

会議の経過	
教育長 教育総務課長	はい、教育総務課長。 空調設備はおおむね１５年で考えております。ただ、１５年以内に壊れる物もいくつかありますので、そういった場合は随時更新をするということで考えております。おおむね１５年ということでございます。以上です。
堀口委員	ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	同じく工事に関することで、多くの工事で工期が１０月までになっています。スポーツ振興課記載のダノン城沼アリーナの工事は３月までになっています。１０月となっている理由を教えてくださいと思います。
教育総務課長	はい、教育長。
教育長	はい、教育総務課長。
教育総務課長	こちらは学校の工事でございますので、夏休みを重点的に工事期間としております。いろいろな施行準備や万が一に備えて、５月から１０月までの期間を取っております。ただ、実際の工事は夏休み中に行うということで計画を立てております。以上です。
木戸委員	ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
井上委員	はい、教育長。
教育長	はい、井上委員。
井上委員	６ページに青少推中学校訪問とありますが、どのような内容をお話されるのでしょうか。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	こちらにつきましては、青少推と補導員も含めて学校を訪れまして、学校から学校生活の様子や問題行動の実情、生活指導の取組についてお話を伺った後、こちらから青少推の活動について説明する内容となっております。その上で、パトロールをされていて気がついた点など、学校と情報交換ではないですが、共有する形となっております。以上です。
井上委員	ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
堀口委員	はい、教育長。
教育長	はい、堀口委員。
堀口委員	同じく６ページの中段、依頼事項の箇所に「指定暑熱避難施設（クリーン

会議の経過	
生涯学習課長	クーリングシェルター)の指定について」とありますが、現在指定されている施設は何箇所あるのか教えていただければと思います。
教育長	はい、教育長。
生涯学習課長	はい、生涯学習課長。
	こちらは5月の館長会議の際に地球環境課の方から公民館への協力についてということで依頼がありました。現在は23か所となっております。市有施設が17か所、そして民間施設が6か所ということで報告をいただいております。以上です。
堀口委員	ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	5ページの6月行事予定の箇所で、以前は人員の項目に予定人数などが入っていたようですが、それが削除された理由があれば教えていただければと思います。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	こちらにつきましては大変面目ないのですが、あまり意識しておりませんでした。明確な基準などはなく、今年につきましては2月から記載していない形になっておりました。先ほどご指摘がありましたように、基本的には募集人数を入れていたようですが、確実にそれが表記されているかという表記されていないものもありました。基本的には今後の予定であり、明確な基準もないことから誤解を生むということも考えられますので、今後は行事予定の人数欄につきましては、なくすことも検討していきたいと考えております。
木戸委員	行事の全体的な規模等を我々が知る上では、把握しているものであれば掲載していただいた方がありがたいなと思いました。
生涯学習課長	ご意見も踏まえた上でしっかりと対応していきたいと思います。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	5ページの青色防犯パトロール実施者講習会ですが、本年度は何人程度を予定しているのかということと、現在防犯パトロール車は市内で何台稼働しているのか教えていただければと思います。
生涯学習課長	はい、教育長。

会議の経過	
教育長 生涯学習課長	<p>はい、生涯学習課長。</p> <p>こちらにつきましては補導員と青少推を合わせまして約１１０名を対象としております。現段階で補導員が４２名、青少推が１０名、計５２人の申込みをいただいております。パトロール車の台数ですが、まず補導員で１台、青少推は公民館の車を使っておりますので１２台ございます。また、こちらは安全安心課に聞き取ったものですが、各地区の防犯協会で約１２０台の登録がありますので、それだけの台数が一応回っているという認識でよろしいかと思います。以上です。</p>
栗原委員 生涯学習課長	<p>市内には１００台以上あるということですか。</p> <p>基本的には地区の防犯協会は安全安心課が管轄となりますが、その中の登録が約１２０台ということです。一度に稼働しているかどうかまでは把握しておりませんが、基本的にはそれだけの台数がパトロール車として登録されているということでございます。</p>
栗原委員	わかりました。ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
井上委員	はい、教育長。
教育長	はい、井上委員。
井上委員	<p>６ページ、「クビアカツヤカミキリムシ撲滅事業における公民館の対応について」とありますが、どのように公民館へ依頼されているかということと、この撲滅事業がどの程度進んでいるかについて教えてください。</p>
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	<p>こちら５月の館長会議で依頼があったもので、基本的に公民館で対応させていただくのは死骸の受取になります。捕まえて持ってきた死骸を受け取りまして、本人の申告数によってスタンプを押します。実際の奨励金申請は地球環境課が窓口となります。昨年度は１万８、１６８匹の回収を行ったそうです。そのうち、公民館で受付をしたのが６、７７２匹で、森林総合研究所の試算によりますと約４、０３７本の樹木を新たな被害から守ることができたということです。以上です。</p>
井上委員	ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	<p>１３ページの後援等に関する事で、キッズセーフティマップ館林市とありますが、こちらの事業について教えてください。</p>

会議の経過	
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	こちらは地図の会社である株式会社ゼンリンの方で作成した地図を、子どもを危険から守ることを目的に全小学生に無料で配布しているものです。何年か前の物を確認しますと20ページほどの冊子で、館林市の地図が8つに分かれております。地図の場所に行って子どもたちが自分たちで危険箇所を調べるなどして、自分自身の安全マップを作成できるような地図になっております。今年度12月前後を目途に市内の子どもたちに配布できるということで、後援をしております。以上です。
木戸委員	ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	14ページの児童生徒の不登校状況ですが、この中に進学して新しい学校になっても1日も学校に行けない児童生徒、いわゆる全欠の児童生徒は実際何人いるのでしょうか。また、全欠の児童生徒に対して学校はどのような対応をしているのか教えていただければと思います。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	まず人数ですが、小学生が1名、中学生が10名、合計11名おります。対応といたしましては、始業式に登校していないため、まずは家庭訪問や電話連絡等で対応したというのが目立っております。また、子どもたちに対して週1回程度の頻度で担任が配布物やプリントを持って家庭訪問したり、保護者の方に電話連絡をして様子をうかがったりする対応が見られます。なかなか保護者と連絡が取れない家庭もありまして、そのような場合には祖父母に連絡して様子をうかがったり、自宅に行ってポストインで手紙を置いたりするなど、本人と担任又は学校と関係が切れない対応に努めております。中には、担任と初めて会って学校まで一緒に散歩ができたといった、なかなか学校には来れないけれども改善の方向に向かっているお子さんもおります。引き続き、対応に努めていきたいと思っております。以上です。
栗原委員	学校の職員が行けば家族のどなたかには会えるということですか。拒否するお家はないということですね。
学校教育課長	拒否ということはないと思いますが、なかなか電話に出なかったり留守だったり、連絡が取りにくい家庭もあると聞いております。そのような中

会議の経過	
<p>栗原委員 教育長 堀口委員 教育長 堀口委員</p> <p>学校教育課長 教育長 学校教育課長</p>	<p>で、最初に子どもの顔が見られたり、保護者と会って話ができたりといった報告も受けております。以上です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>そのほか、いかがでしょうか。。</p> <p>はい、教育長。</p> <p>はい、堀口委員。</p> <p>12ページの校長教頭合同会議の報告事項にある3月の交通事故についてですが、最近、登校時の小学生の列に車が突っ込むといった事故が全国で多発しています。館林市はどのような対応をしているのか教えていただければと思います。</p> <p>はい、教育長。</p> <p>はい、学校教育課長。</p> <p>5月14日に事故があったかと思います。翌日の5月15日に各学校へ次のようなメールを送りました。並列歩行や並列走行等をしないよう、子どもたちに対して改めて交通安全について指導をお願いしますということ、2つ目に、可能な範囲で職員による登下校の立哨指導やパトロールをお願いしますということ、3つ目に、地域の見守りボランティアの方々に協力依頼をしてくださいということ、4つ目といたしまして、各学校から保護者に対して注意喚起をお願いしますということでメールを配信しました。また、関係各課との連携という点では、安全安心課や青少年センター、警察署の方に連絡しまして、パトロールを依頼しました。安全安心課と学校教育課でも先週金曜日の5月23日まで低学年の下校時に合わせて青パトを走らせて注意喚起をしました。以上です。</p>
<p>堀口委員 教育長 井上委員 教育長 井上委員 生涯学習課長 教育長 生涯学習課長</p> <p>井上委員</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>そのほか、いかがでしょうか。</p> <p>はい、教育長。</p> <p>はい、井上委員。</p> <p>10ページの電話相談実績の内容について教えてください。</p> <p>はい、教育長。</p> <p>はい、生涯学習課長。</p> <p>こちら3件実績がありましたが、1件は不登校で精神的に不安定になっているお子さんとの関わり方についての相談でした。もう1件は自閉症のお子さんとの接し方ということで、家庭環境の変化による悩み事が1件、最後の1件は保健センターと間違えたものでした。以上です。</p> <p>ありがとうございます。</p>

会議の経過	
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	17ページの教育研究所に関することです。4月9日に班別研究とありますが、今年度の班別研究の研究領域、また、こちらにはどのような方が参加しているのか教えていただければと思います。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	研究内容のうち1つ目は、道徳授業の改善に向けての研究、2つ目が里沼の学習に関する研究、もう1つは授業改善プロジェクトということで、本市における授業改善の指定校にスポットを当てて、校内研修の研究向上、授業改善に向けた研究を行っております。参加者の年代は班員が3人ずつおりまして、20歳代が3人、30歳代が5人、40歳代が1人ということで、合わせて9人で成り立っております。以上です。
栗原委員	班別研究の成果は1年、2年かけると思いますが、ぜひその成果を各学校に広めていただければと思います。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
堀口委員	はい、教育長。
教育長	はい、堀口委員。
堀口委員	16ページに令和7年度から12年度までの児童生徒数・学級数の推移表がありますが、小中学校の特別支援学級児童生徒数と学級数について、今後はどのような推移になるのかわかる範囲で教えていただければと思います。
学校教育課長	はい、教育長。
教育長	はい、学校教育課長。
学校教育課長	特別支援学級の今後の推移については、正直なところわかりません。理由といたしましては、市の教育支援委員会において、小中学校の入学時等に一人一人のお子さんに対して特別支援学級が適しているのか、特別支援学校が適しているのか審査をするため、はっきりとした人数はわからず、人数がわからないことに伴い、学級数もわからないのが現状です。これまでの推移を見ますと、令和5年度は児童生徒数が238人、学級数が49学級、令和6年度は児童生徒数が247人、学級数が50学級、令和7年度は児童生徒数が257人、学級数が51学級ということで、この3年間で児童生徒数が約10人ずつ増えております。学級数も1つずつ増えております。ただ、全体的にはこの3年間で全体の児童生徒数が200人ずつ

会議の経過	
堀口委員	減っています。それに伴って逆に10人ずつ増えてるので、割合からすると増えているというのが現状になります。以上です。
教育長	ありがとうございます。
木戸委員	そのほか、いかがでしょうか。
教育長	はい、教育長。
木戸委員	はい、木戸委員。
	18ページにある4月12日の短編映画『ものがたりの予感』完成披露上映会について、上映会の内容や参加者の感想等がわかるようでしたら教えていただければと思います。
文化振興課長	はい、教育長。
教育長	はい、文化振興課長。
文化振興課長	報道等で話題になっておりましたが、こちらの映画は多々良沼で多々良製鉄の発掘調査を行う研究者が少年と出会うというストーリーで物語が展開していきます。主演俳優の加藤亮佑さんは千代田町出身の方で、加藤さんの日本遺産里沼への思いがきっかけで多々良沼がロケ地になったという経緯がございます。20分ほどの短編なのですが、2月に行われましたぐんま次世代映像クリエイターコンペ、こちらで最優秀賞に輝いたものです。文化振興課ではこの受賞を記念しまして、4月11日に小ホールで午前・午後の2回上映会を開催いたしまして、259人の参加がございました。上映後には鯨岡監督、主演の加藤さん、邑楽町出身の同じく俳優である大竹直さんによるトークセッションを行いました。映像のすばらしさなどに対する絶賛の声を参加者からいただいたり、トークセッションで監督に様々な裏話などを語っていただいたりと、非常に評判が良い上映会となりました。余談となりますが、5月に澁谷インディペンデント・フィルム・フェスティバルという映画祭がありまして、こちらに出品して主催者特別賞を受賞されました。非常に国内でも高い評価を受けた作品となっております。
木戸委員	ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	30ページ、科学館でROCKET Labを6月に2回行っています。その内容と、今後何回程度開催するのか、また、周知方法について教えていただければと思います。
向井千秋記念子ども科学館長	はい、教育長。

会議の経過	
<p>教育長 向井千秋記念子ども科学館長</p>	<p>はい、向井千秋記念子ども科学館長。</p> <p>ご質問にお答えします。ROCKET Labの内容についてですが、まず6月12日は「家電分解2025」ということで、普段身の回りにある壊れてしまった家電を集めてきて、科学館前の広場にブルーシートを敷いて家電を分解するものです。参加しているお子さんたちの年齢層にも幅がある中で、皆で協力して家電を分解しながらその仕組みを探るというような内容になっております。次に、6月18日につきましては、ボッチャ競技を行います。パリパラリンピックの競技種目にもなっているのですが、健常者の方も障がいのある方も、幅広い年齢の方が楽しめる競技ということで、そちらに挑戦するものです。今年度の実施回数は、昨年度と同様の17回を予定しております。いずれも時間帯は午後2時から3時の1時間です。テーマを各回決めまして、回ごとに参加者を募集するというような形になっております。先ほど6月の内容についてご説明しましたが、それ以外にも身の回りにある不思議なものについて皆で探究をしたり、活動を通じて小学生や中学生のお子さんたちもコミュニケーションを取ったりというところを大切にプログラムを組んでいるところです。今年度は1月に「スパイスの科学」という、科学の中でもスパイスに焦点を当てて、企業とコラボして行う計画もございます。子どもが楽しみながらコミュニケーションが取れて、自己肯定感などを感じられるように工夫しながらプログラムを組み立てております。周知につきましては、学校を通じて、例えば校長会議でお話ししたり、担当の先生が各校にいらっしゃいますので、そういった先生と緊密に連絡を取ったりしながら、ぜひ参加できそうなお子さん勧めてみてくださいというようなお話をしております。教育研究所などからも情報を頂きながら、連携してお声をかけさせていただいております。また行政以外ですとフリースクールに通われているお子さんたちもいらっしゃいますので、そちらの方にも情報提供をするようにしております。内容としてはこのような形となりますが、本当に学校以外の居場所ということで、アクティブラーニングに基づきましてお子さんたちの自己肯定感が高まるような形でサポートをこれからはしていきたいと考えております。</p>
栗原委員	なかなかほかの自治体ではないような取組だと思うので、ぜひ不登校児童生徒のきっかけになればいいなと思います。よろしくお願いいたします。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
井上委員	はい、教育長。
教育長	はい、井上委員。

会議の経過	
井上委員	18ページと19ページになります。文化財ルネッサンスの活動について、以前から様々な催しをなさっていますが、今回の内容と、そして今後について教えていただければと思います。
文化振興課長	はい、教育長。
教育長	はい、文化振興課長。
文化振興課長	そもそもの文化財ルネッサンスとは、というところからに説明させていただきます。歴史的建造物や史跡などを会場にしまして、民間の方にそういった施設を活用していただくことによって、文化財の魅力を知ってもらおうという目的の事業です。「プレーパーク茂林寺」から説明いたしますと、こちらはNPO法人あいずという法人が主催した事業です。プレーパークというのは冒険しながら遊びを楽しめる場でして、一般的な公園とは違い、子どもたちが天然素材や道具を使って様々な遊びを楽しめる。それがプレーパークとなっております。今回は茂林寺沼の南岸用地を中心に利用して、子どもたちと一緒に竹でジャングルジムを作ったり、滑り台を作ったり、大きな木を使ってブランコを作ったり、春休み期間中に子どもたち向けに実施した事業です。普段できない遊びに夢中になって冒険を楽しんでいたという報告を受けております。次に、「小さな試聴会」は、彩球オーディオ倶楽部という行田市で活動されているグループの皆さんが、自分たちで作った小型のオーディオ装置を使って上毛モスリン事務所でレコードを楽しむ会です。季節に1回ほどやっていたのですが、アナログなレコードによる音色がクラシカルなモスリン事務所に響きわたって非常に好評です。観光客の方もふらっと立ち寄って、皆さん喜んで帰られるという報告を受けております。また、来月行われる「世界の楽器コンサート」ですが、こちらはアンバルワリアーズというグループがモスリン事務所の2階で世界楽器を演奏するものです。中東やインド、沖縄の楽器などを演奏して音楽に合わせて舞踏も披露されるようです。当日は13時開演予定ですので、よろしかったらぜひお越しいただければと思います。以上です。
井上委員	わかりました。ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
堀口委員	はい、教育長。
教育長	はい、堀口委員。
堀口委員	28ページのダノン城沼アリーナエレベーター設置工事について、エレベーターは館内のどの辺りに設置予定か教えていただければと思います。
スポーツ振興課長	はい、教育長。

会議の経過	
教育長 スポーツ振興課長	はい、スポーツ振興課長。 設置予定位置でございますが、まず1階の体育館入口付近をイメージしていただければと思います。1階は事務室の東側外の軒下部分にあるスペースになります。外の軒下部分の設置になりますが、エレベーターの入口は体育館の内側からとなります。そこから2階、3階へと突き抜けるわけですが、2階は南側の、現在医務室のある位置に設置します。3階は東側南寄りの観客席の一部、24席分のスペースに設置予定となります。ご参考に、エレベーターは11人乗りで、1階はエレベーター西側の扉が開いての乗り降りになりますが、2階と3階は逆の、東側の扉が開いての乗り降りとなります。以上でございます。
堀口委員	ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	31ページが一番上、6月28日のベビープラネタリウムについて、対象者が小さい方なのか、規模自体が小さいものなのかを教えていただければと思います。
向井千秋記念子ども科学館長	はい、教育長。
教育長	はい、向井千秋記念子ども科学館長。
向井千秋記念子ども科学館長	ご質問にお答えします。本日、事業の周知でチラシをお配りさせていただいておりますので、こちらをご覧くださいいただければと思います。こちらの事業は以前に市が行った市民対象のアンケートで、「子育て世代を対象に子連れでも出かけやすい、そういった場所や機会を増やしてほしい」というようなご意見をいただきまして、そちらを受けて計画したものです。6月28日から9月、10月、11月、3月ということで全5回開催を予定しております。乳幼児が声を出してしまうために、ほかの人に迷惑をかけてしまうということで出かけるのを控えているご家族、特に0歳から3歳くらいの小さなお子さんを対象に考えております。そういった子育て世代の方に気軽に科学館を利用していただくために開催します。普段プラネタリウムでは乳幼児向けの番組も投影しているのですが、なかなか小さいお子さんがいる家族ですと声を出してしまったり、途中で泣いてしまったりで迷惑だから入れないというようなご家族もいらっしゃるかと思います。そういった方に向けまして、こちらの時間帯はお子さんが泣いたり、声を出したりしても皆さんお互い様ということで退席しなくてもいいということや、普段は投影を開始してしまうと入退場をご遠慮していただいていると

会議の経過

	<p>ころを入退場も制限しないで自由にさせていただいたり、どうしても真っ暗になると怖いということでお子さんが泣いてしまったりするので、通常よりも照明を明るくしてある程度見えるような状況で投影したりと、工夫しながら開催したいと考えております。各回100名を想定しております。プラネタリウムの座席は240席ございますが、こちらにつきましては100名ということでゆったりと観ていただければと考えております。募集方法ですが、1日からL o G oフォームでの募集を予定しております。補足ですが、当館では来年3月にプラネタリウムをリニューアルする計画もございますので、幅広い世代の皆さんに当館へ気軽に足を運んでいただけるようなプログラムをこれからも考えていきたいと思っております。</p>
木戸委員	ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
栗原委員	はい、教育長。
教育長	はい、栗原委員。
栗原委員	7ページ、分福公民館で行った分福シニア学習塾ですが、準備会ということでこれからどのような学習を目指しているのか教えていただければと思います。
生涯学習課長	はい、教育長。
教育長	はい、生涯学習課長。
生涯学習課長	こちらにつきましては準備会ということで、今年度1年間の活動内容についての打合せを行ったということになっております。毎年行っておりますのは現地学習で、昨年度は実技でボッチャの体験講座、あとは寄席の鑑賞などがありました。昨年はやはり大会があったからか、ボッチャの活動が多かったのですが、今年に関しましては現時点では現地学習という報告を受けております。あまり細かい報告はまだありませんので、こちらでは把握してない状況となります。ただ、グループのシニア学習としては、やはり元気に楽しく仲間づくりをテーマに、学級生が主体的に学習するという事で活動を行っております。基本的には高齢者教室ですので、比較的自分たちで学びたいものを学んでいるという形になります。
栗原委員	ありがとうございました。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
井上委員	はい、教育長。
教育長	はい、井上委員。
井上委員	32ページ、4月26日に本の福袋の貸出とありますが、これはどのような内容でしょうか。

会議の経過	
図書館長 教育長 図書館長	<p>はい、教育長。</p> <p>はい、図書館長。</p> <p>内容についてお答えいたします。まず令和7年度の子ども読書の日記念事業といたしまして、4月26日から図書館1階の企画コーナーにて、0歳から高校生までを対象に先着100名に貸出しを行ったものでございます。これは図書館員のおすすめ本3冊を1セット、1人1袋として貸し出しまして、ミニプレゼントにブックコーティングサービス券を付けさせていただきます。これはコーティングシール表紙を加工して保護するサービスです。100個の福袋は年齢別に分けまして、0歳から2歳用、3歳から6歳用を各20袋、小学校低学年・中学年・高学年を各15袋、中学生・高校生用を15袋用意させていただきました。好評のうちに100名に達しましたので、貸出しは終了しております。このような企画をこれからも考えていきたいと思っております。</p>
井上委員	ありがとうございます。
教育長	そのほか、いかがでしょうか。
木戸委員	はい、教育長。
教育長	はい、木戸委員。
木戸委員	<p>昨年12月の定例会で国際交流&イングリッシュキャンプという事業を後援しております、6月14日と15日に開かれる予定だと記載がありました。最近、報道等でこちらの主催団体である宮城復興支援センターの返金トラブルのようなニュースを目にしまして、その事業自体が普通に開催されるのかという点と、館林市教育委員会として今後この後援をどのように扱っていくのかを確認させていただければと思います。</p>
教育総務課長	はい、教育長。
教育長	はい、教育総務課長。
教育総務課長	<p>ご指摘のように、昨年の12月定例会議案書に記載しております。後援申請に対しても許可しております。その中では3月に那須で、6月にあかぎ青少年交流の家でイングリッシュキャンプを行うという予定でございました。ご存じのとおり、宮城復興支援センターで返金トラブルがあるという報道が、つい最近ですけれどもございまして、それを受けてホームページを確認しましたところ、事業予定など、そういった情報がほとんど載っていない状況です。問合せはメールのみでメールもほとんど返ってこない、電話も通じないというのが全国的な例になっているようです。そこで、借りる施設であるあかぎのホームページを見たところ、昨年からのトラブルがあってお貸ししていませんというようなことがホームページに載って</p>

会議の経過	
	<p>いました。那須の方も電話で確認したところでは、もうこの団体にはお貸ししていませんということなので、もうこの3月と6月は実施しないことになると思います。資金がショートしているので、こういったところではほとんど事業ができないのではないかとということが予想されます。団体は多分もう活動できないと思いますので、今後後援申請があったとしても、許可は出ないと考えておりますし、12月に承認した分も、まだ6月まで日にちがありますので、後援を取り消すという考え方もあります。そこは内部で検討していきたいと考えております。ただ、取り消して通知を出してもそこに到達するかどうかわかりませんが、後援をしていることで館林市の名誉を傷つけてしまうような恐れがありますので、そういったところで取り消しということも検討したいと考えております。</p>
木戸委員	わかりました。ありがとうございました。
教育長	<p>そのほか、いかがでしょうか。</p> <p>(委員から「なし」の声あり)</p>
教育長	<p>ないようですので、事務報告は記載のとおり承認するものとしてよろしいでしょうか。</p> <p>(委員から「異議なし」の声あり)</p>
教育長	<p>異議なしと認め、記載のとおり承認するものといたします。</p> <p>次に、日程第5 議事に入ります。</p> <p>議案第30号 館林市青少年補導員の委嘱についてを議題といたします。</p> <p>このことについて説明をお願いします。</p>
生涯学習課長	<p>(別紙資料に基づき説明)</p> <p>提案理由等： 館林市青少年補導員について、新たに2名を委嘱しようとするものである。</p>
教育長	<p>ありがとうございました。ただいまの説明について、質疑等がありましたらお願いします。</p> <p>(委員から「なし」の声あり)</p>
教育長	<p>それではお諮りいたします。本案につきましては原案のとおり決定するものとしてよろしいでしょうか。</p> <p>(委員から「異議なし」の声あり)</p>
教育長	<p>異議なしと認め、本案は原案のとおり決定いたします。</p> <p>次に、議案第31号 館林市田北東集会所運営委員の委嘱についてを議題といたします。このことについて説明をお願いします。</p>
生涯学習課長	<p>(別紙資料に基づき説明)</p>

会議の経過	
教育長	<p>提案理由等： 館林市田北東集会所運営委員の任期は2年であり、令和8年3月31日までであるが、委員の人事異動等に伴い、後任者に委嘱しようとするものである。</p> <p>ありがとうございました。ただいまの説明について、質疑等がありましたらお願いします。</p> <p>(委員から「なし」の声あり)</p>
教育長	<p>それではお諮りいたします。本案につきましては原案のとおり決定するものとしてよろしいでしょうか。</p> <p>(委員から「異議なし」の声あり)</p>
教育長	<p>異議なしと認め、本案は原案のとおり決定いたします。</p> <p>次に、議案第32号 館林市野辺集会所運営委員の委嘱についてを議題といたします。このことについて説明をお願いします。</p>
生涯学習課長	<p>(別紙資料に基づき説明)</p> <p>提案理由等： 館林市野辺集会所運営委員の任期は2年であり、令和8年3月31日までであるが、委員の人事異動等に伴い、後任者に委嘱しようとするものである。</p>
教育長	<p>ありがとうございました。ただいまの説明について、質疑等がありましたらお願いします。</p> <p>(委員から「なし」の声あり)</p>
教育長	<p>それではお諮りいたします。本案につきましては原案のとおり決定するものとしてよろしいでしょうか。</p> <p>(委員から「異議なし」の声あり)</p>
教育長	<p>異議なしと認め、本案は原案のとおり決定いたします。</p> <p>次に、議案第33号 館林市立学校適正規模・適正配置審議会への諮問についてを議題といたします。このことについて説明をお願いします。</p>
教育総務課長	<p>(別紙資料に基づき説明)</p> <p>提案理由等： 館林市立学校適正規模・適正配置に関する基本方針の策定について検討するため、館林市立学校適正規模・適正配置審議会へ諮問しようとするものである。</p>
教育長	<p>ありがとうございました。ただいまの説明について、質疑等がありましたらお願いします。</p> <p>(委員から「なし」の声あり)</p>
教育長	<p>それではお諮りいたします。本案につきましては原案のとおり決定するものとしてよろしいでしょうか。</p> <p>(委員から「異議なし」の声あり)</p>

会議の経過	
教育長	<p>異議なしと認め、本案は原案のとおり決定いたします。</p> <p>次に、議案第34号につきましては、館林市教育委員会会議規則第17条第1項により非公開としたいと思いますが、非公開としてよろしいでしょうか。</p> <p>(委員から「異議なし」の声あり)</p>
教育長 教育長	<p>異議なしと認め、ただいまから教育委員会を非公開とします。対象者については一時退室を願います。</p> <p>【傍聴人及び事務局対象者 退室】</p> <p>(非公開)</p> <p>【傍聴人 入室】</p>
教育長 教育長	<p>次に、日程第6 その他で何かございますか。</p> <p>(委員等から「なし」の声あり)</p> <p>ないようですので、以上で本日の全日程を終了します。</p> <p>これにて教育委員会を閉会します。(午後4時11分)</p>